※令和３年度以前入学生用

２　地理歴史・公民

学校番号	T2101

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２	年次	１～４
使用教科書	「最新　政治経済」　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・政治経済では現代の政治と経済および国際関係などについて理解し、日本の現状を考えていきます。「現代社会」より専門的に政治・経済分野について学ぶため、時代を追って政治体制や人々の権利のあり方を取り上げ、より理解を深めていきます。また新聞記事や時事ニュースを取り上げ、学んでいる内容とつながりを持たせて授業を展開していきます。「当事者意識」を持ち、社会で起こっていることへの関心を持ちましょう。

２　学習の到達目標

・広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深化させる。
・現代の政治、経済、国際関係に関する興味・関心を引き出し、その客観的な理解をはかる。
・現代の政治・経済に関する諸課題に対する多様な見方・考え方を学び、その解決に向けて主体的に考える態度を養わせる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の政治、経済、国際関係について関心を高め、それぞれの課題を意欲的に追究する態度を身につけ、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。	現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を見いだし、広い視野に立って多面的・多角的に考察し、現代社会の変化や様々な立場を踏まえて公正に判断している。	現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して集め、その情報を効果的に活用している。	政治、経済、国際関係などに関する基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシートの記述 授業態度	ワークシートの記述 授業態度	ワークシートの記述 授業態度	定期考査 ワークシートの記述 授業態度

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
		a	b	c	d		
前期は実施しない							
現代の政治	・現代国家と民主政治 ・日本国憲法と基本的人権 ・日本の政治制度と政治参加 ・現代の国際政治 ・日本の平和主義と国際平和	○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ 	○ ○ 	a:民主政治、法、憲法、政治機構に深い関心を持ち、積極的に課題を追求し、よりよい社会の実現にむけて参加する態度を身につけ人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしている。 b:政治的事項から課題を発見し、政治的事象の本質について主体的に考察し、現代社会の変化や様々な考え方を理解し公正な判断力を持ち、その課程や結果を適切に表現している。 c:民主政治に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d:民主政治に関する事象と、人間としての在り方や生き方に関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 提出物 授業中の活動
現代の経済	・経済社会の変容 ・現代経済のしくみ ・現代の日本経済と福祉の向上 ・現代の国際経済	 ○ ○		 ○	○ ○ ○ 	a:経済の本質や資本主義経済の歴史、市場経済、財政、金融あるいはグローバル化した今日の世界経済といった経済活動全般について関心を持ち、よりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間の在り方生き方についての自覚を深めようとしている。 b:現代経済の特質について、経済体制の国際比較を行うなど多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その課程や結果を適切に表現している。 c:経済体制の現状に関する情報を、様々な手段を使い収集している。・経済体制に関して収集した資料を、自ら設定した課題解決のために主体的に選択し、効果的な活用をしている。 d:資本主義経済の特質について的確な知識を有するとともに、グローバル化が進む現在の世界経済についても十分に理解し、経済に関する基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 提出物 授業中の活動

※令和３年度以前入学生用

現代社会の諸問題	・地域社会の変貌と住民生活 ・産業構造の変化と中小企業 ・農業と食料問題 ・雇用と労働をめぐる問題 ・少子高齢社会と社会保障 ・地球環境問題 ・地球環境と資源・エネルギー問題 ・人種・民族問題 ・経済格差の是正と国際協力 ・国際社会における日本の立場と役割	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ 	a:現代日本の諸課題に対する関心を高め、課題を主体的に追究し、解決の在り方を客観的に考察しようとしている。 b:現代日本の諸課題を多面的・多角的に考察し、解決の在り方、社会の変化やその中での様々な立場からの考え方を踏まえて公正な判断をしている。 c:現代日本の諸課題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、自らの意見を持つための情報を主体的に選択し効果的に活用している。 d:現代日本の政治や経済の諸課題に関する基本的な事柄について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 提出物 授業中の活動

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。